

事業の基礎情報

実施主体	飯塚市
事業実施地域	飯塚市
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	商業 ・ 農業
共創パートナー	飯塚市・西鉄バス筑豊株式会社・イオン九州株式会社・飯塚市商店街連合会・株式会社イズミ ・福岡嘉穂農業協同組合
運行形態	路線バス
運行主体	西鉄バス筑豊株式会社

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

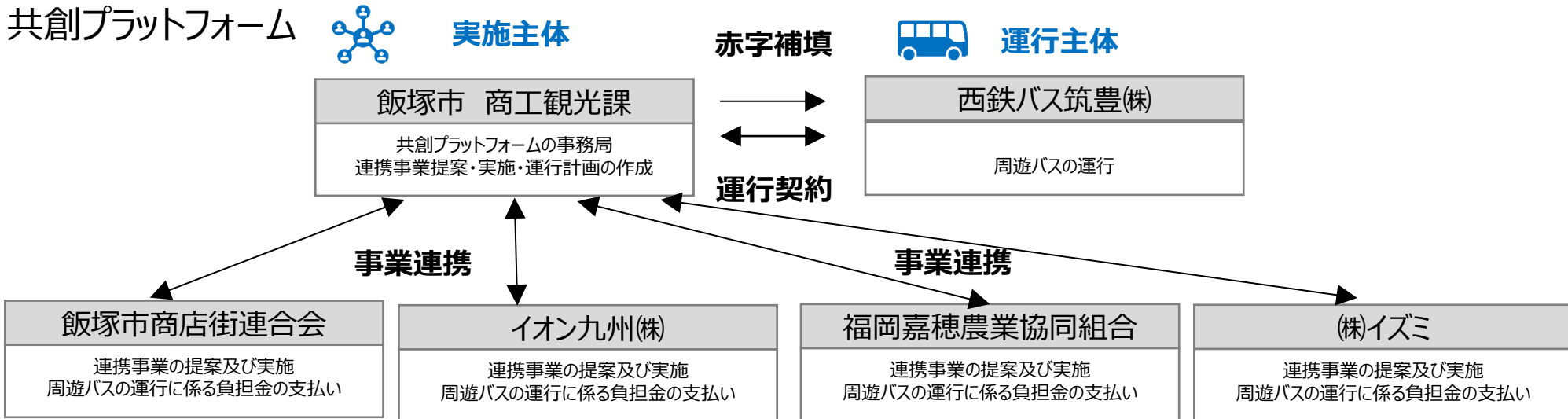
西鉄バス筑豊(株)が運行する路線バスに加え、飯塚市がコミュニティバス、エリアワゴン、予約乗合タクシーを運行している。課題としては、若者や子育て世代の消費が市外に流出していること及び利用者減少による事業収益の悪化による路線の減便・廃止と赤字補填の増加（民間）やコミバス等の運行経費の大幅な増加（飯塚市）である（飯塚市地域公共交通計画抜粋）。本事業は、民間路線バスが地域公共交通の根幹となることから、路線バスの収支改善と公共交通利用者増加の方策を検討し、路線バス維持のため、行政・交通事業者・商業施設が共同で連携協議会を立ち上げ、運行経費については、各事業主体が負担をし、実証運行するもの。

（事業の概要）

大型商業施設（集客力があり多くの人を集客する施設）への来街者（車を運転できない学生や市外から公共交通機関を利用した来街者）をターゲットとして、西鉄バス筑豊が商業施設運営者の了承のもと敷地内にバス停を設置し、各施設を周遊するバスを運行する。周遊バスの運行に併せ、商業施設運営者と飯塚市が協働し、バスの利用促進事業として、デジタルスタンプラリーを実施する。更には利便性の向上及び乗降客数の増加を図るため1日乗車券を導入する。

また利用者アンケートを実施し、ニーズの把握や赤字要因分析のほか、今後の協議会運営をより効果的なものとし、持続可能な運行に役立てるもの。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

飯塚市周遊商業エリア連携協議会の構成員は飯塚市、西鉄バス筑豊、飯塚市商店街連合会、イオン九州(株)、福岡嘉穂農業協同組合、(株)イズミ及びタウンマネージャーであり、各商業施設は来街者の集客及び運行費の負担、西鉄バス筑豊は周遊バスの自主運行、飯塚市は利用促進事業（ソフト事業の実施）及び運行費の負担、タウンマネージャーは各構成員を有機的に連携させるためのソフト事業の企画立案の役割を担っている。

(実証事業により見込まれる効果)

課題としては、若者や子育て世代の消費が市外に流出していること及び利用者減少による事業収益の悪化による路線の減便・廃止と赤字補填の増加（民間）やコミバス等の運行経費の大幅な増加（飯塚市）である。多くの人が集まる商業施設等に周遊バスを運行することで公共交通の認知度の向上と利用者の増加を図り、その他のバス路線における収支改善にも繋がり課題解決のための有効な手段である。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

飯塚市周遊商業エリア運行バス実証事業のスケジュール

実施主体	実施内容	7月から8月	9月から10月	11月から12月	1月	2月	3月	4月
西鉄バス筑豊	周遊バスの運行	→						
飯塚市 4商業施設	デジタルスタンプラリーコンプリート者に記念品贈呈	←→						
飯塚市 4商業施設	1日乗車券			→				
飯塚市	利用者アンケート調査				←→			
飯塚市	赤字補填 飯塚市 → 西日本鉄道					●		
4商業施設	負担金支払 4商業施設→飯塚市							●

※4商業施設（飯塚市商店街連合会 イオン九州(株) 福岡嘉穂農協業同組合 (株)イズミ)



(補助事業実施後の予定)

補助事業期間後については、運賃収入、広告収入及び飯塚市・商業施設運営事業者からの負担金を想定しており、取組の持続化を図っていくもの。